最近の産業分野における省エネルギーソリューションの現状と技術動向

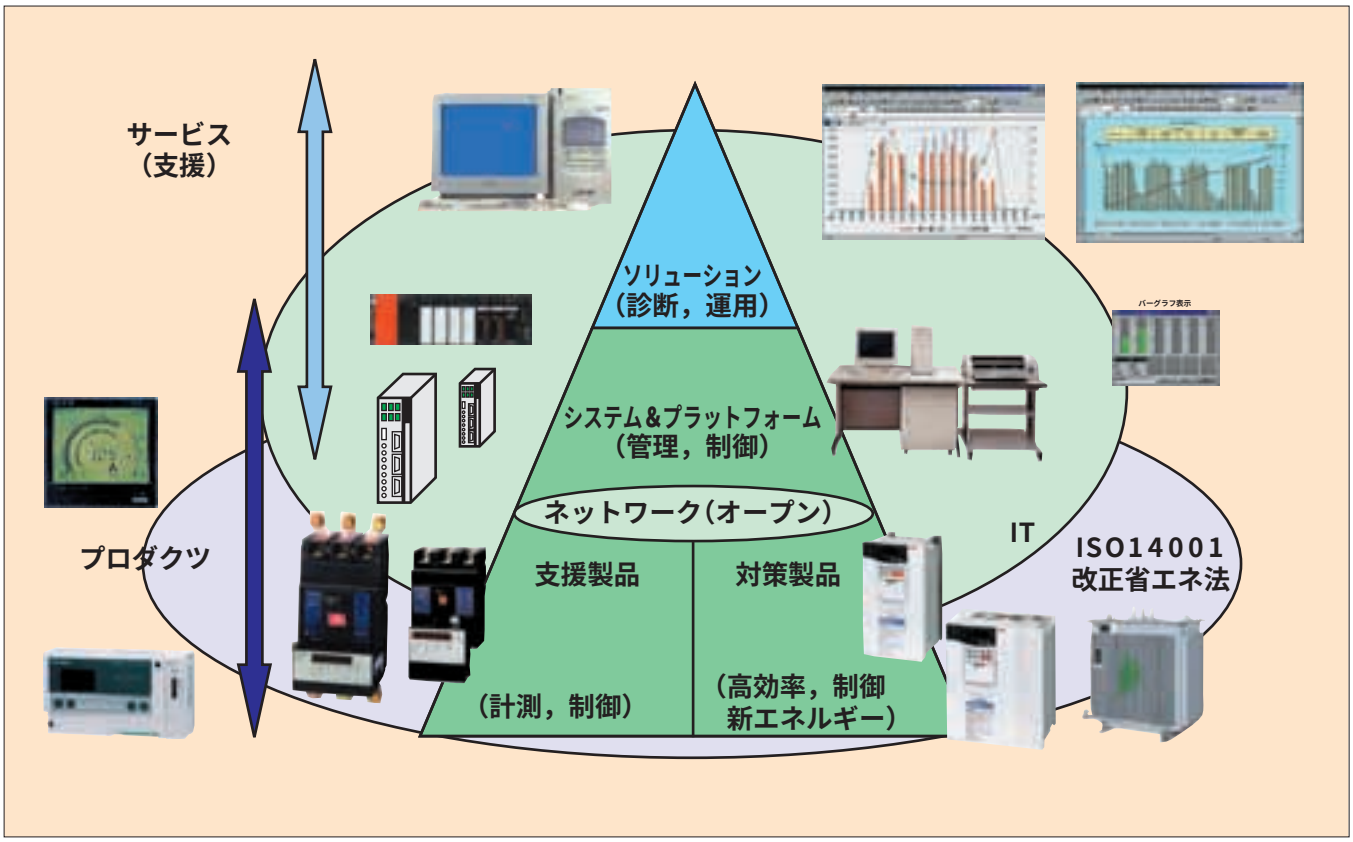
有信一郎*

要　旨

地球規模での環境破壊が進む中，とりわけ我々人類にとって改善すべき緊急でかつ重大な課題の一つが，CO_2排出の増加による地球温暖化の問題である。我が国においても，第三回気候変動枠組み条約締結国際会議＝京都会議（COP３）の議決を契機に，本格的な温暖化防止に向けての取組がスタートした。

我が国の1999年度最終エネルギー消費は 90年度比で115%と増加しており，代替エネルギーの対応が遅れていることもあり，多くが石化燃料に依存しているままである。特に最終エネルギー消費の約50%を占める産業分野でも，同比107%と増加傾向にある。民生・運輸の各分野でも抑制・削減の具体化と実行が進んでいるが，我々産業分野の省エネルギー活動の成果に多くの期待が寄せられていることは言うまでもない。特に，我々総合電機メーカーは一エネルギー使用者として，また，管理／対策／運営手段を提供できるものとして，その期待にこたえていく必要があると考えている。

三菱電機は，これにこたえるため，オープンネットワークを指向した省エネルギー活動支援製品／省エネルギー対策製品／エネルギーの有効利用・診断・運用を支援するシステム＆ソリューション（ESCO（Energy Service Company）を含む）などを提供している。今後とも，より使いやすく，より高効率で，より省エネルギーの実現ができる新製品や新しい省エネルギーソリューション技術など様々な角度からノウハウ蓄積と研究開発を行い，今後一層高まるユーザーの要求にこたえていく所存である。



産業界の省エネルギー活動を支援する製品マップ

省エネルギーを実現するため，支援製品，対策製品，システム＆ソリューションという三つの解決方法（プロダクツからサービスまで）をバランスよく提供し，そのプラットフォーム製品をうまく活用してお客様の省エネルギー活動をトータルに支援していきたい。図は構成イメージ例を示す。

*福山製作所省エネシステムプロジェクトマネージャー